

# ブラジル日本商工会議所 2023年上期第3回フォーラム

2022年下期の振り返り並びに今後の展望

2023年3月28日  
貿易部会

# 目次

□ 貿易部会アンケート質問事項と回答	P- 3 ~ 6
□ 貿易統計による考察	P-7~12
・ ブラジル貿易収支推移2001年~2022年	P- 7
・ ブラジル輸出金額上位15品目2020~2022年	P- 8
・ 【考察①】国別(中国向け) 輸出取引動向2020~2022年	P- 9
・ ブラジル輸出金額上位15品目2020~2022年	P-10
・ 【考察②】国別(米国、中国より) 輸入取引動向2020~2022年	P-11
・ 日本との輸出/輸入金額推移2020~2022年	P-12
□ 対ブラジル直接投資動向2001年~2022年	P-13
□ 2023年度を展望して注目すべき事柄	P-14~16

# 貿易部会

## 2023年部会長フォーラムに係るアンケート

- ①フォーラム副題「世界的な高インフレの影響を乗り越える」について、御社のブラジル及び世界での活動にて尽力されている点や、その他自由意見を記入頂きたく、宜しくお願い致します。
- ②2023年度を通じて、御社の企業活動に影響を与えそうなブラジル国内外の動きで注目されている事項としてどのようなことが挙げられますか。

# 貿易部会

## 2023年部会長フォーラムに係るアンケート

### メーカー（医療、繊維、機械など）

<p>フォーラム副題「世界的な高インフレの影響を乗り越える」について、御社のブラジル及び世界での活動にて尽力されている点や、その他自由意見を記入頂きたい、宜しくお願い致します。</p>	<p>2023年度を通じて、御社の企業活動に影響を与えそうなブラジル国内外の動きで注目されている事項としてどのようなことが挙げられますか。</p>
<p>利益圧迫を防ぐために販売価格の値上げ、物流コストを中心としたより一層の販売管理費の削減に努めています。</p>	<p>為替変動に加え、過去はゼロコロナによるインパクト、そして現在まで尾を引いているロシア-ウクライナ情勢に端を発した原材料費の価格高騰に加え世界的なインフレーションはいまだに弊社のオペレーション上で大きな懸念となっています。</p>
<p>費用削減策のブラッシュアップと適正な利益目標のすりあわせ</p>	<p>とくになし。2023年度（あるいはそれ以降）は、想定できないので、とにかく、現状把握に努め、ブラジル人および欧米人の有識者とブレインストーミングを重ね、動きがあった際には、迅速に対応する。</p>
<p>仕入れコストの増加に伴い、売価への転嫁は避けられない状況。但し、市場シェアの維持、顧客満足度の向上を考えると、従来以上に技術サポートやデジタルソリューションを活用した高付加価値サービスが欠かせなくなっている。</p>	<p>日米の金融政策、ブラジル新政権の経済政策の動向、及びそれに伴うブラジルの為替への影響。</p>
<p>高インフレの影響で製品原価が上がることは避けられず、それをいかに製品販売価格に転化するかを常に試みてる。幸い、輸入品市場で競合しており、欧米企業との競合が多く、相手も輸入品の為、同様に価格は上がっており、対応できている。円安のおかげで調整出来ている点もある。</p>	<p>ルーラ政権になり、政府主導の入札案件の予算が増えるか否かの動向。また、ブラジル人雇用を守る為の外国人の労働環境の後退、労働訴訟条件の悪化、為替、金利動向、等々、ルーラ政権だけの問題ではないが、新政権による一般的な動向に注目している。</p>
<p>SG&amp;A、特に輸送費の抑制に努めています</p>	<p>ロシア、ウクライナ問題の長期化によるさらなる原材料費の高騰は注意をしてみています</p>
<p>経費の最適化（固定費の削減）、生産コストの低減に向けた各種オペレーションの見直し、付加価値サービスの向上及び売価の値上げ</p>	<p>日米金融政策、ルーラ新政権の経済政策の動向による為替への影響</p>

# 貿易部会

## 2023年部会長フォーラムに係るアンケート

### 植林、紙パルプ

<p>フォーラム副題「世界的な高インフレの影響を乗り越える」について、御社のブラジル及び世界での活動にて尽力されている点や、その他自由意見を記入頂きたい、宜しくお願い致します。</p>	<p>2023年度を通じて、御社の企業活動に影響を与えそうなブラジル国内外の動きで注目されている事項としてどのようなことが挙げられますか。</p>
<p>昨年の高インフレによるコストアップは製品売価に転嫁して販売する事が出来ました。今年に入ってから、需要が弱含んでいるため、高インフレが続くとコスト削減努力も限界があるので、収益が圧迫されることとなります。</p>	<p>ブラジル所得税増税、レアル為替変動、異常気象（集中豪雨によるインフラ破損、異常乾期による山林火災）、中国景気。</p>

### 卸・小売、商社①

<p>安定供給先との関係維持、新規供給先確保。</p>	<p>ウクライナ情勢、米中の景気動向等の不確定要素による為替・商品相場推移。（石油・穀物等）</p>
<p>インフレに抗い、少しでも消費者を助ける意識での経営と販売努力。</p>	<p>政権交代が要因かはわからないが、税制の変更や治安悪化。</p>
<p>従来のサプライチェーンに依存するのではなく、新たなサプライチェーンシステムを構築し、インフレ影響を加味しても客先に評価をして貰える仕組みづくりに取り組んでいる。</p>	<p>ルーラ新政権の税制改革</p>
<p>現状のブラジルに於ける高金利は、他国より遥かに高い為、ブラジルでの事業参画・創出に対しての魅力が減り、社内で通そうとしてもハードルが上がっており苦しい。</p>	<p>ブラジルの森林伐採や脱炭素に関する環境政策の動き及び金利・為替政策</p>

# 貿易部会

## 2023年部会長フォーラムに係るアンケート

### 卸・小売、商社②

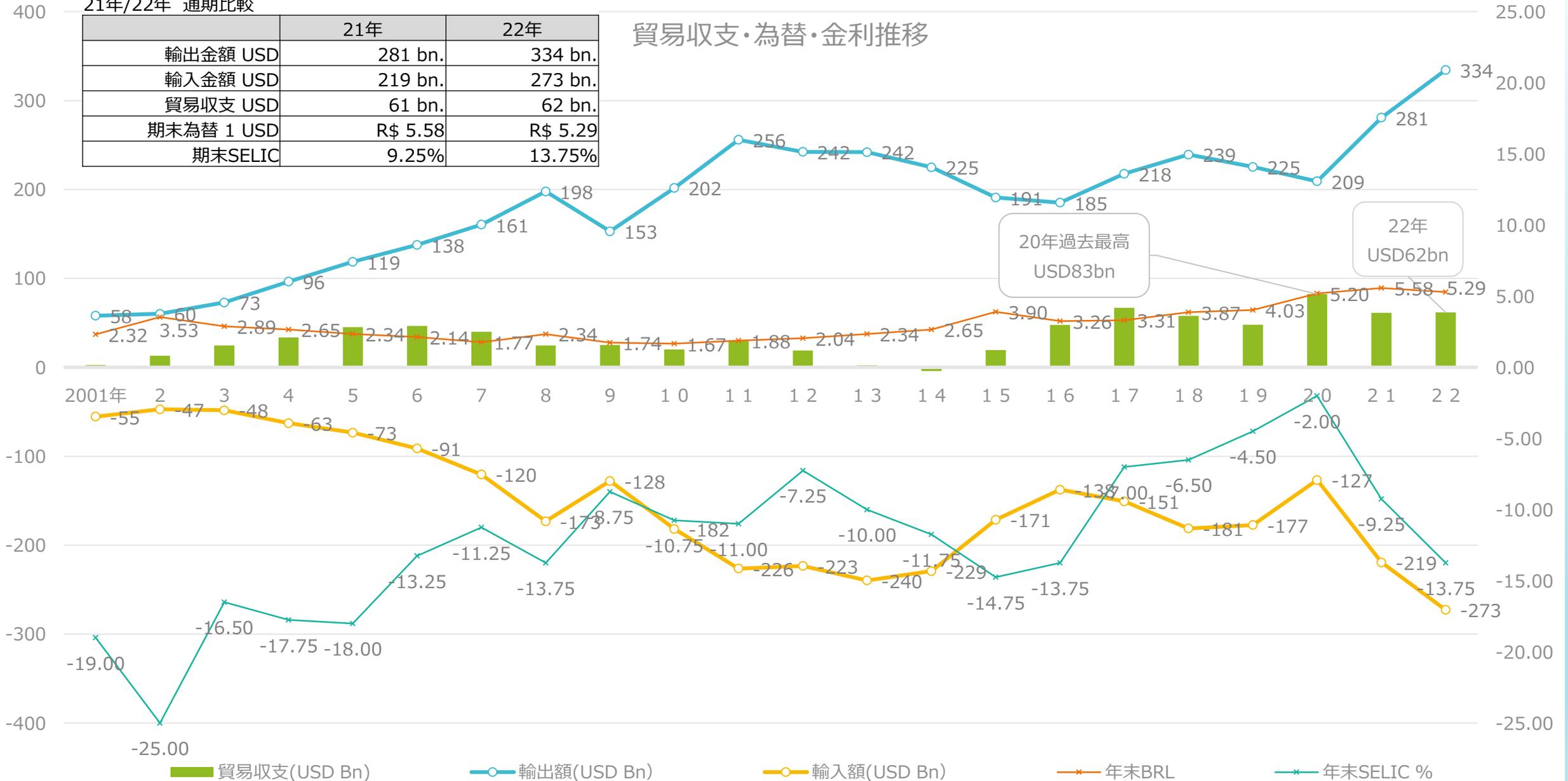
<p>フォーラム副題「世界的な高インフレの影響を乗り越える」について、御社のブラジル及び世界での活動にて尽力されている点や、その他自由意見を記入頂きたく、宜しくお願い致します。</p>	<p>2023年度を通じて、御社の企業活動に影響を与えそうなブラジル国内外の動きで注目されている事項としてどのようなことが挙げられますか。</p>
<p>Supply Chainの強靱化、コスト競争力の強化、付加価値の高い／差別化ができる商売の創出</p>	<p>&lt;Global&gt; ロシア/ウクライナ紛争長期化による食料、燃料エネルギー-Supply Chainの混乱、世界的な高インフレの継続、中国のゼロコロナ政策終焉、環境意識の高まり。 &lt;Domestic&gt; 政治情勢不安、税制改訂の行方、高金利</p>
<p>インフレを背景とする需要軟化に伴う収益性悪化の影響を抑えるべく、在庫の圧縮等に努める。また、輸送費・資材費等のコスト増の価格転嫁にも取り組む。</p>	<p>ブラジルにおいては、ルーラ政権の財政対策・税制改革、及び環境問題への取り組みと環境保護法の議論を注視する。 グローバルでは、ウクライナ戦争、米中関係といった地政学的緊張が一層高まっており、サプライチェーンへの影響やコモディティ価格の高いボラティリティを引き続き懸念する。</p>
<p>川上分野はコモディティ価格が市況により可視化されているため、仕入価格を販売価格に連動・転嫁できる分野は良いが、そうでない場合には、経営合理化等の経費削減を進めながら、価格上昇を自社で一定程度負担していく戦略となる。 加えて川下分野では消費者に対し、単なる価格転嫁を行うのではなく、高付加価値品を提供していくなど自社のブランド価値を高めることで、長期的に消費者の信頼を高める戦略が有効と考えている。また、消費者の手元流動性を考慮した分割払いをベースに、長く使ってもらえる商品を提供していくことも一案。</p>	<p>ルーラ政権の労働者向け施策動向がより明確になるまで、設備機械への投資を見送るといった慎重な動きあり。 BRICsやメルコスール等の結びつきを重視しており、FTAの動向を注視。 税制改正については税簡素化、富裕層や法人税課税強化の動きについて注視。 ロシア・ウクライナ侵攻の長期化</p>
<p>資源（含む、食糧）の安定供給</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・税制改革の上院・下院での審議</li> <li>・財政上限規制に係る上院・下院での審議</li> <li>・ルーラ政府と中央銀行の関係</li> <li>・ペトロブラスの中期経営方針</li> <li>・脱炭素、カーボンプレジット制度導入に関連する政府、民間の動き</li> <li>・EV、リチウムに関連する動き</li> <li>・ロシアのウクライナ侵攻の今後の展開</li> <li>・ルーラ政権の民営化に対する姿勢</li> <li>・農業セクターに影響を及ぼし得るような環境規制に関する政府方針</li> </ul>

# ブラジル貿易収支推移(2022年12月迄)

21年/22年 通期比較

	21年	22年
輸出金額 USD	281 bn.	334 bn.
輸入金額 USD	219 bn.	273 bn.
貿易収支 USD	61 bn.	62 bn.
期末為替 1 USD	R\$ 5.58	R\$ 5.29
期末SELIC	9.25%	13.75%

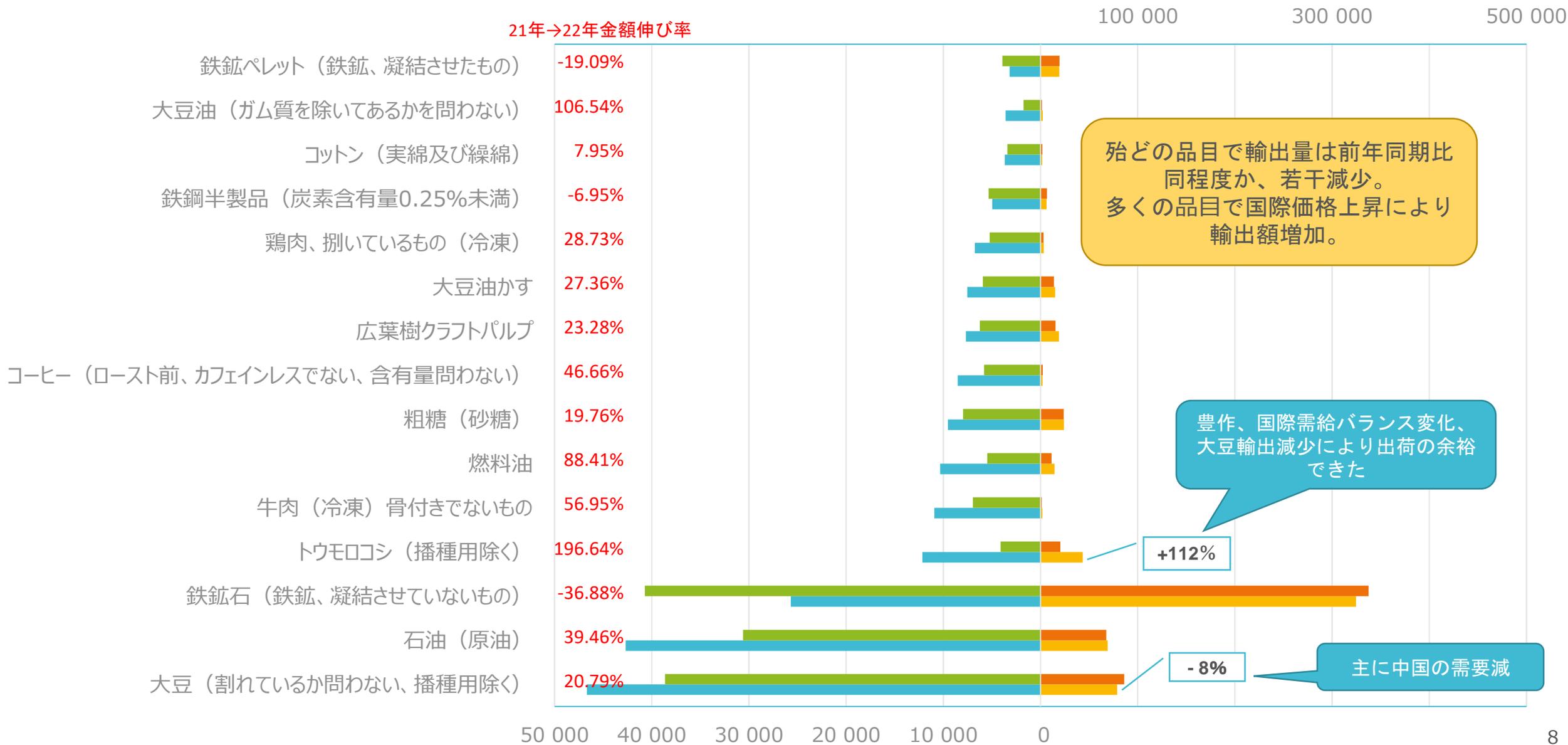
貿易収支・為替・金利推移



# 2022年通期 輸出品目Top 15 推移 (21-22年)

左：輸出額 (USD百万) / 右：輸出量 (1000トン)

■ 2021年輸出額 ■ 2022年輸出額 ■ 2021年輸出量 ■ 2022年輸出量



殆どの品目で輸出量は前年同期比同程度か、若干減少。多くの品目で国際価格上昇により輸出額増加。

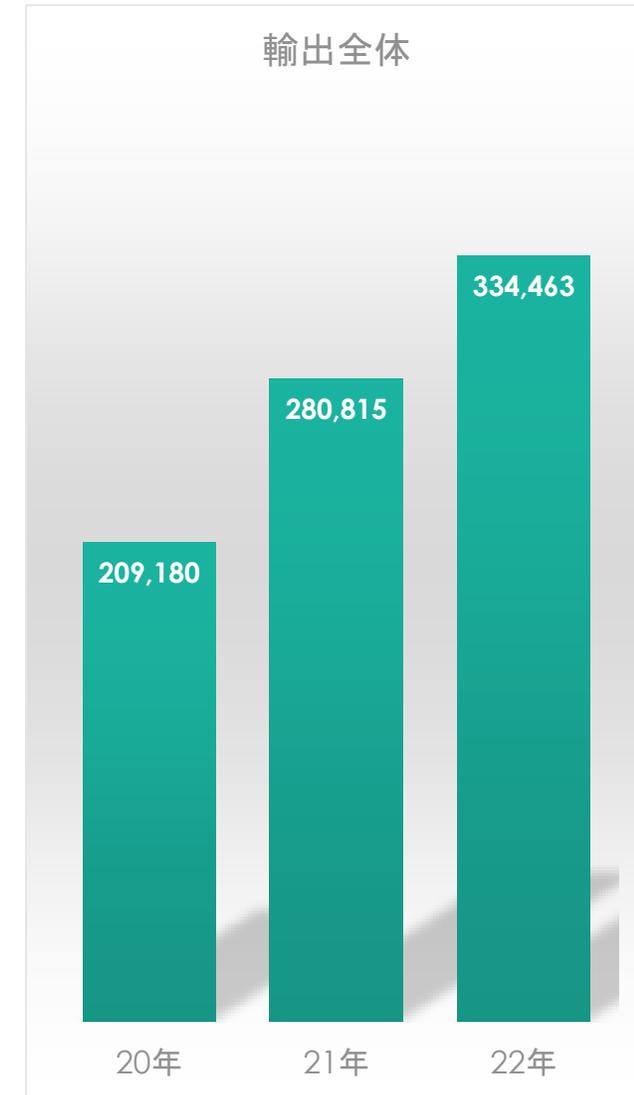
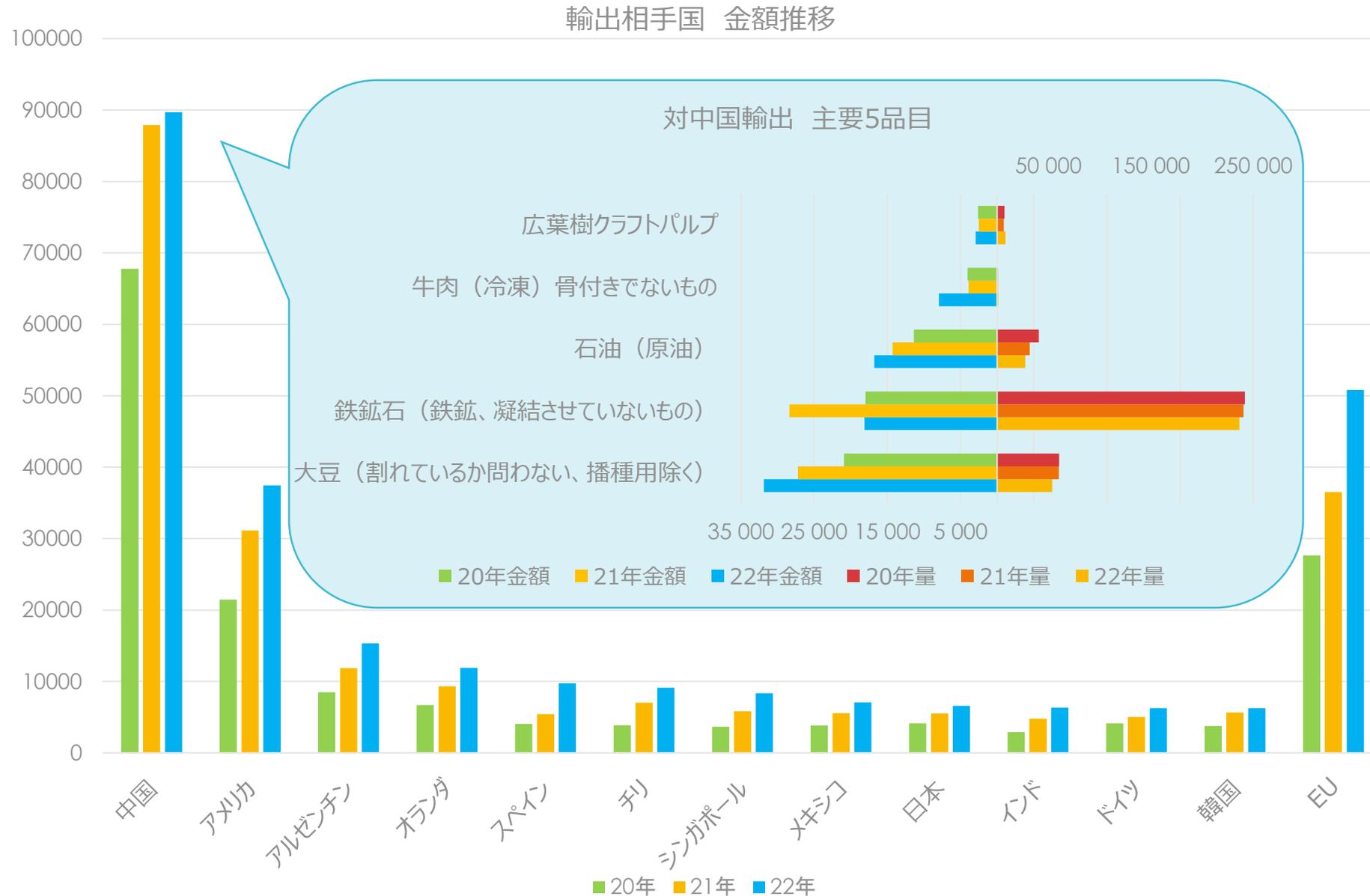
豊作、国際需給バランス変化、大豆輸出減少により出荷の余裕できた

+112%

- 8%

主に中国の需要減

# 輸出相手国 20年～22年通期 推移 金額 (USD百万)



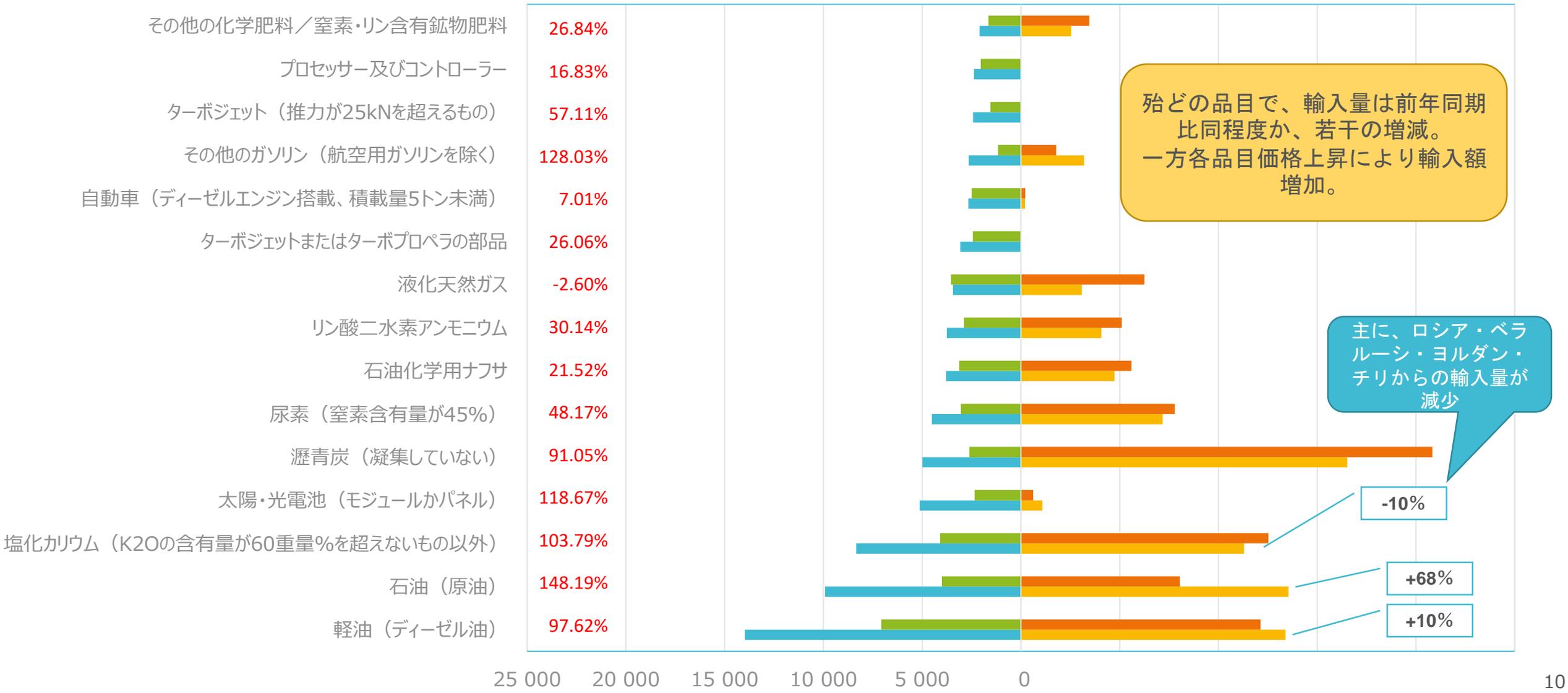
# 2022年通期 輸入品目Top 15 推移 (21-22年)

左：輸入額 (USD百万) / 右：輸入量 (1000トン)

■ 2021年輸入額 ■ 2022年輸入額 ■ 2021年輸入量 ■ 2022年輸入量

21年→22年金額伸び率

0 5 000 10 000 15 000 20 000 25 000



殆どの品目で、輸入量は前年同期比同程度か、若干の増減。一方各品目価格上昇により輸入額増加。

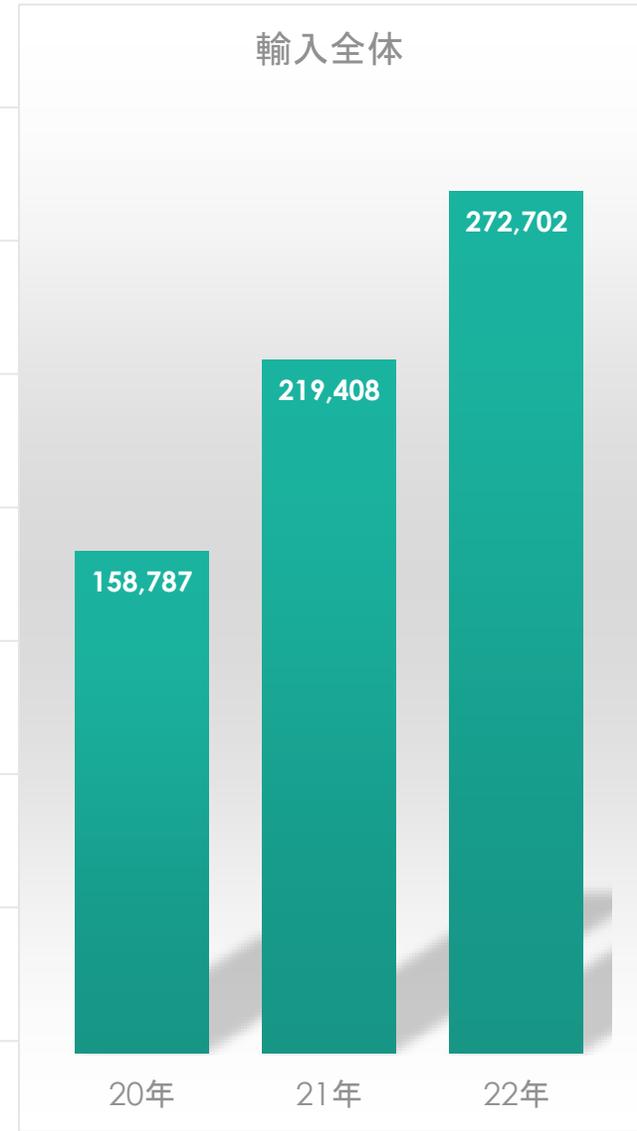
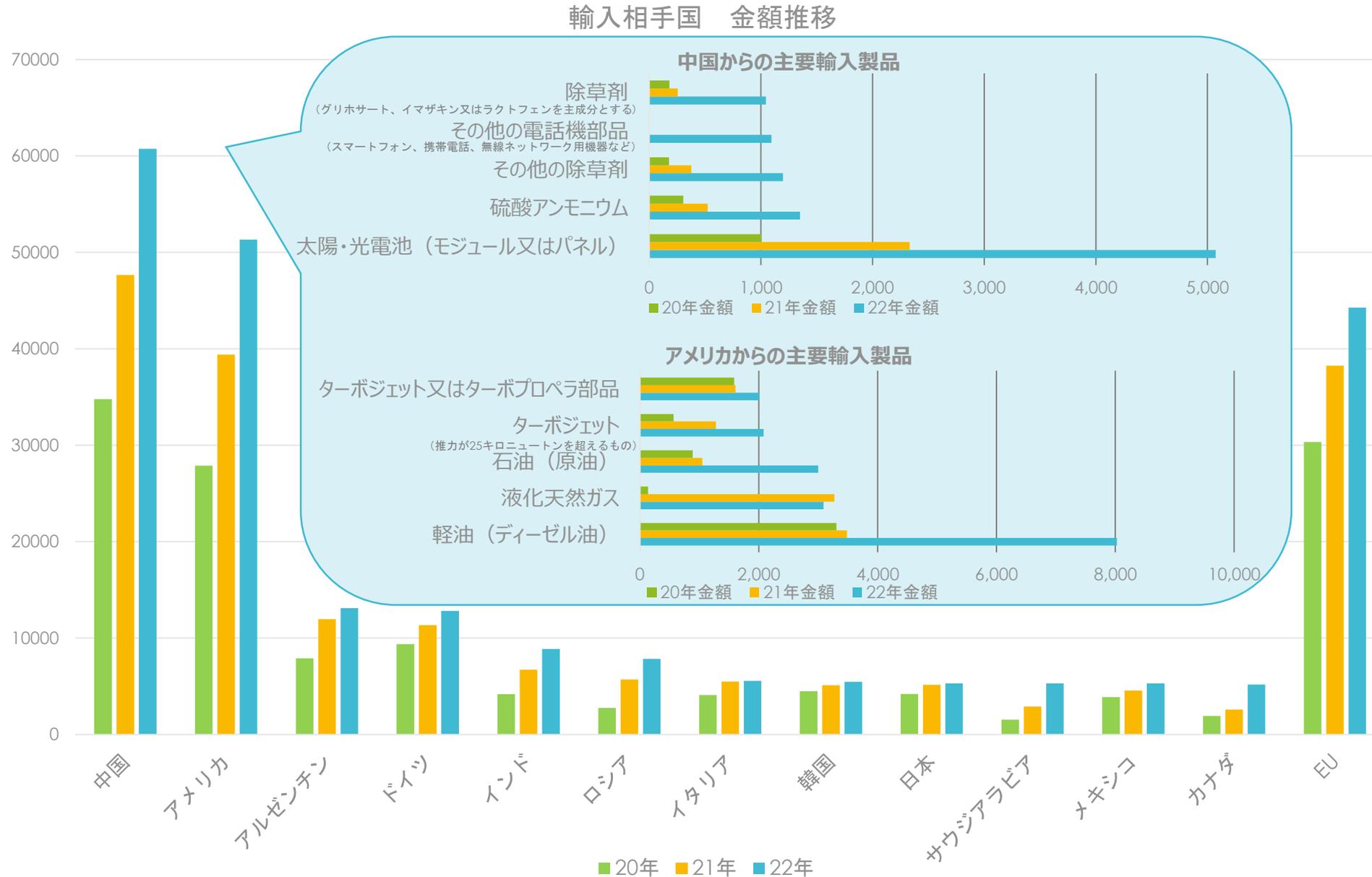
主に、ロシア・ベラルーシ・ヨルダン・チリからの輸入量が減少

-10%

+68%

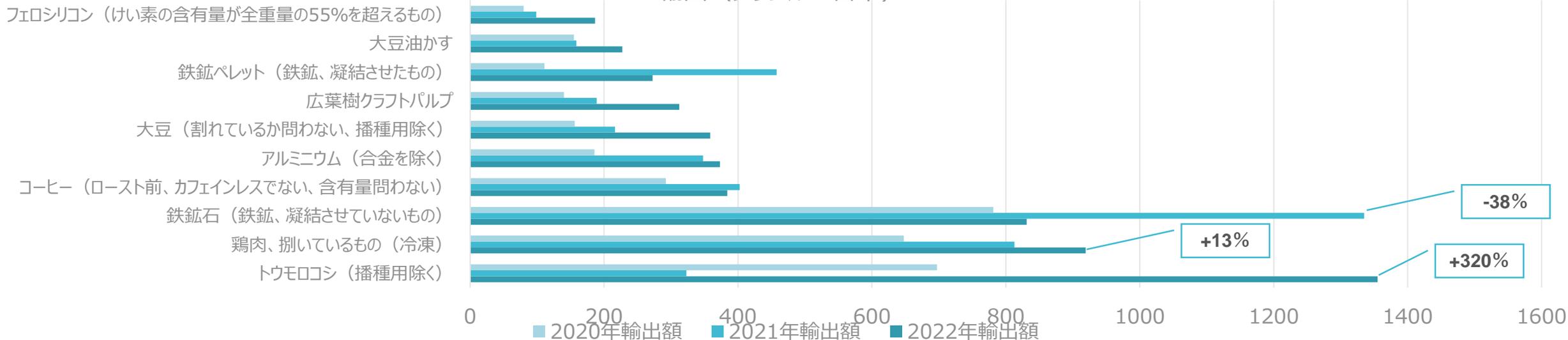
+10%

# 輸入相手国 20年～22年通期 推移 金額 (USD百万)

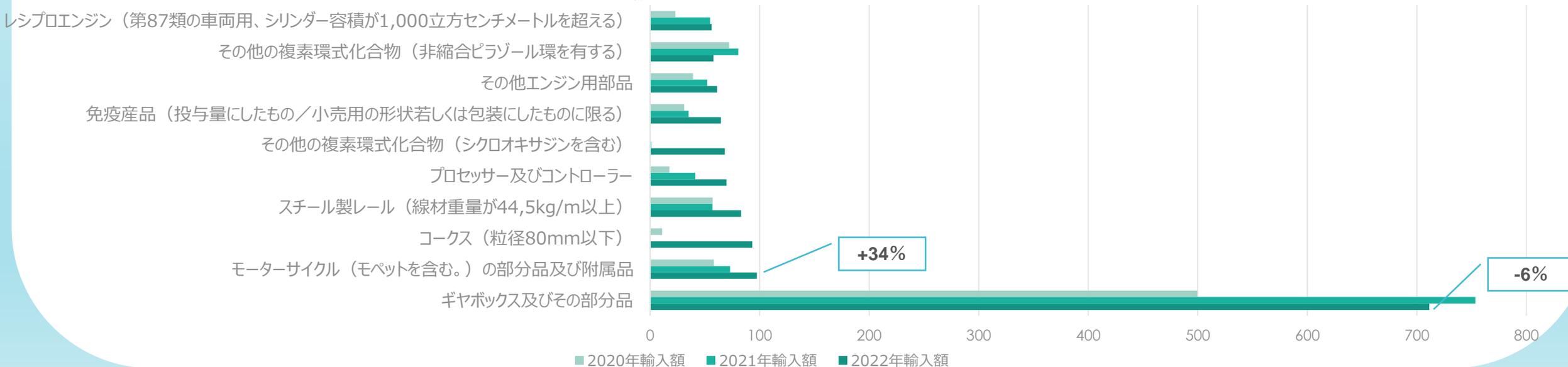


## 20～22年通期：日本との貿易 輸出/輸入金額推移 (USD百万)

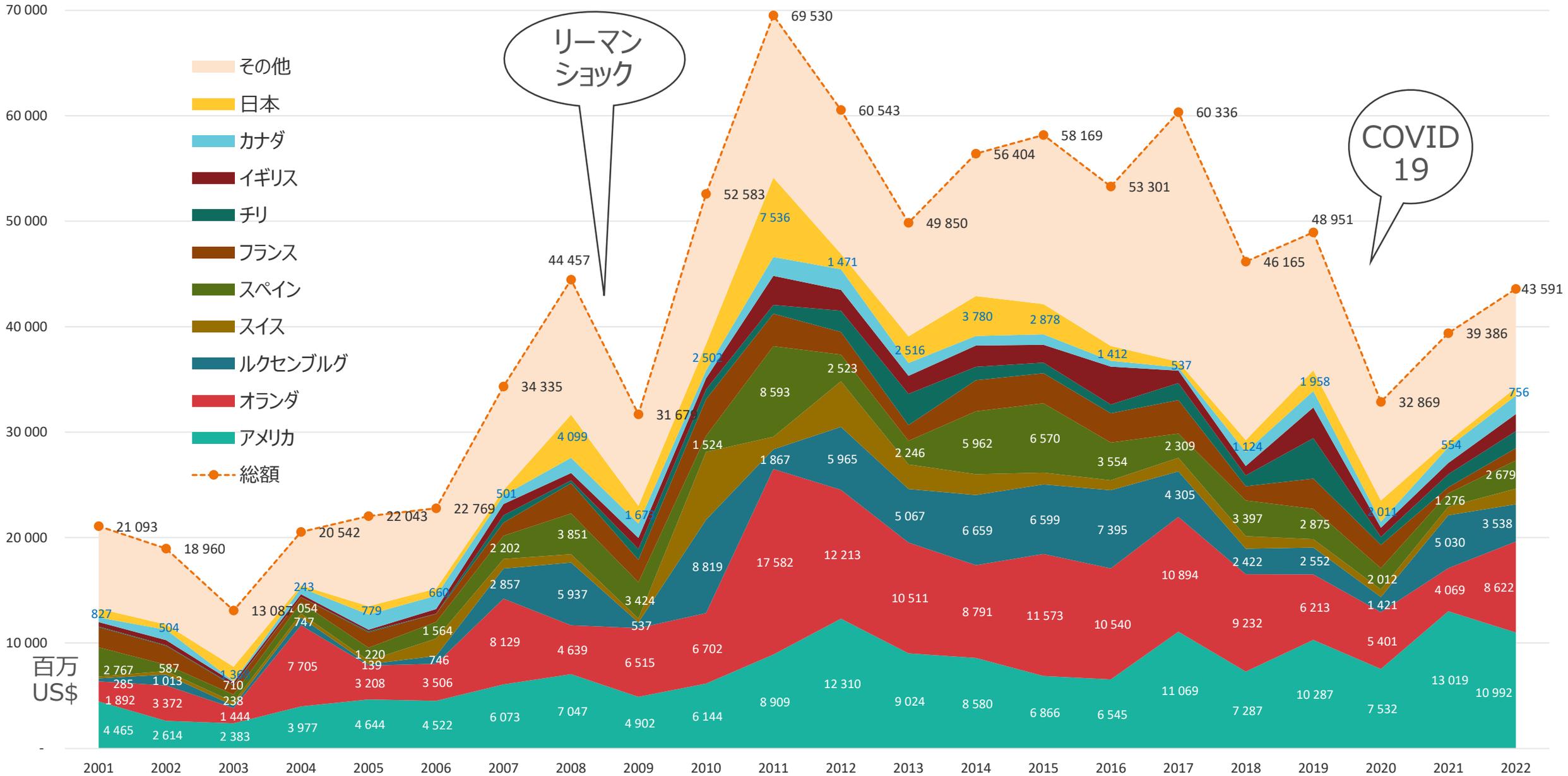
### 輸出 (ブラジル→日本)



### 輸入 (日本→ブラジル)



# 対ブラジル直接投資動向(2022年12月迄)



# 2023年を展望して注目すべき事柄

## 国際地政学・分断の進行・気候変動

ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、  
対ロシア経済制裁の長期化  
米中摩擦  
中国共産党大会(習近平長期政権)  
米国ねじれ議会  
日本の外交政策(米国・中国・ロシア)の鮮明化  
各国・各地域のエネルギー政策  
(脱炭素の行方・スピード感)

## 各国・地域の経済政策と動向

インフレ長期化する懸念  
各国経済政策 金融引締め の進行度  
金利動向、為替動向  
原材料高、輸送コスト高への対応  
中国コロナ政策緩和後の動向

ブラジル ルーラ政権政策：税制改革、財政懸念、  
レアル為替、環境政策  
国際サプライチェーンの環境変化下における  
中南米地域の存在感、経済連携・貿易協定協議の進捗  
域内左派政権による保護主義的政策

## ブラジル及び中南米の政治・経済

想定外の変化に対応する柔軟性、潮目を見極める感度、情報収集がますます重要に。

# 2023年の展望

## アンケート結果振り返り — 「世界的な高インフレの影響を乗り越える」について

### 【尽力している点】

- ・販売費及び一般管理費の削減（オペレーションの見直し含む）
- ・販売価格への転嫁
- ・高付加価値を目指す
- ・安定供給先との関係維持
- ・新規供給先の確保
- ・サプライチェーン強靱化、新規サプライチェーンシステムの構築
- ・消費者を助ける意識での経営と販売努力
- ・在庫の圧縮
- ・長期的に消費者の信頼を高める戦略
- ・資源の安定供給

### 【その他自由意見】

- ・価格調整において、輸入品市場で競合している他社（欧米など）も価格を上げているので対応できており、円安のおかげもあり調整できている
- ・ブラジル金利が他国に比べ遥かに高く、事業参画・創出の魅力が少ない
- ・需要が弱含みになってきており収益が圧迫される可能性

# 2023年の展望

## アンケート結果振り返り — 各社企業活動に影響を与えそうなブラジル国内外の動きで注目する事項

### 【ブラジル】

政治情勢、ルーラ政権の経済政策、税制改革（税制簡素化、法人税強化など）

政権と中央銀行の関係、中央銀行の金利政策

環境政策（環境規制、脱炭素、カーボンクレジット制度など）

ペトロブラスの中期経営方針

政治動向などによる対リアル為替変動への影響

ブラジル人雇用保護に伴う外国人の労働環境への影響

異常気象（集中豪雨によるインフラ破壊、山林火災など）

### 【中南米】

BRICs、メルコスールのFTA動向

### 【米中】

米国・中国景気（中国ゼロコロナ政策終焉後の景気動向）

米国金融政策

米中関係の緊張

### 【全世界】

ロシア・ウクライナ紛争長期化による食料・燃料エネルギーサプライチェーンの混乱

原材料費高騰

インフレ

為替変動